

GS グローバル・ ビッグデータ投資戦略

Aコース(為替ヘッジあり)／Bコース(為替ヘッジなし)
追加型投信／内外／株式

販売用資料 | 2025.12

お申込みの際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。
「投資信託説明書(交付目論見書)」は販売会社までご請求ください。

■本資料はゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」といいます。)が作成した販売用資料です。投資信託の取得の申込みにあたっては、販売会社より「投資信託説明書(交付目論見書)」をお渡しいたしますので、必ずその内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。■本ファンドは値動きのある有価証券等(外国証券には為替リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、当社がその正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託は預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■銀行等の登録金融機関でご購入いただく投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。■投資信託は、金融機関の預金と異なり、元金および利息の保証はありません。■投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うことになります。

■投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは



商号等 あかつき証券株式会社
加入協会 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第67号
日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人日本投資顧問業協会



■ 設定・運用は

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

商号等 ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社
加入協会 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第325号
日本証券業協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会 一般社団法人第二種金融商品取引業協会



GS グローバル・ ビッグデータ投資戦略

GS GLOBAL BIG DATA STRATEGY

持続的な成長を遂げてきた世界経済。だからこそ、長期的な資産形成の中核として、評価されている先進国株式。ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントは、運用モデルにおいて2008年からビッグデータ/AI(人工知能)を活用し、独自の手法を磨き続けてきた。あふれる情報の中から投資への示唆を見出し、ポートフォリオ構築に役立てる。



先進国株式への
分散投資



ビッグデータ/AIを
活用した投資戦略



ゴールドマン・サックス・
アセット・マネジメント
の運用

(ご参考) 本ファンドの投資対象ファンドおよび主要指標の推移

下記は投資対象ファンドの過去の運用実績(費用控除前)であり、本ファンドの運用実績ではなく、本ファンドの将来の運用成果を示唆または保証するものではありません。本ファンドの実績は11ページをご覧ください。



投資対象ファンド: GS グローバル・ビッグデータ投資戦略の投資対象ファンド「ゴールドマン・サックス・ファンズS.I.C.A.V. - ゴールドマン・サックス・グローバルCORE エクイティ・ポートフォリオ」を指します。上記データにおいては、本ファンドの信託報酬等の諸費用は考慮されておらず、また、米ドル・ベースのデータを用いて計算しているため、円ベース、円ヘッジ・ベースのデータとは動きが異なります。為替ヘッジを行うコースでは、ヘッジ・コストがかかることにもご留意ください。先進国株式: MSCIワールド指数、全世界株式(オール・カントリー): MSCIオール・カントリー・ワールド指数。投資対象ファンドの参考指標はMSCIワールド指数であり、MSCIオール・カントリー・ワールド指数は相対的な水準をご理解いただくため、ご参考までに掲載しています。

期間: 2004年10月13日(投資対象ファンド設定日前日)～2025年9月30日(グラフ始点を100として指数化)

出所: ブルームバーグ、MSCI、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント すべて米ドル・ベース、指標は税引後配当込み

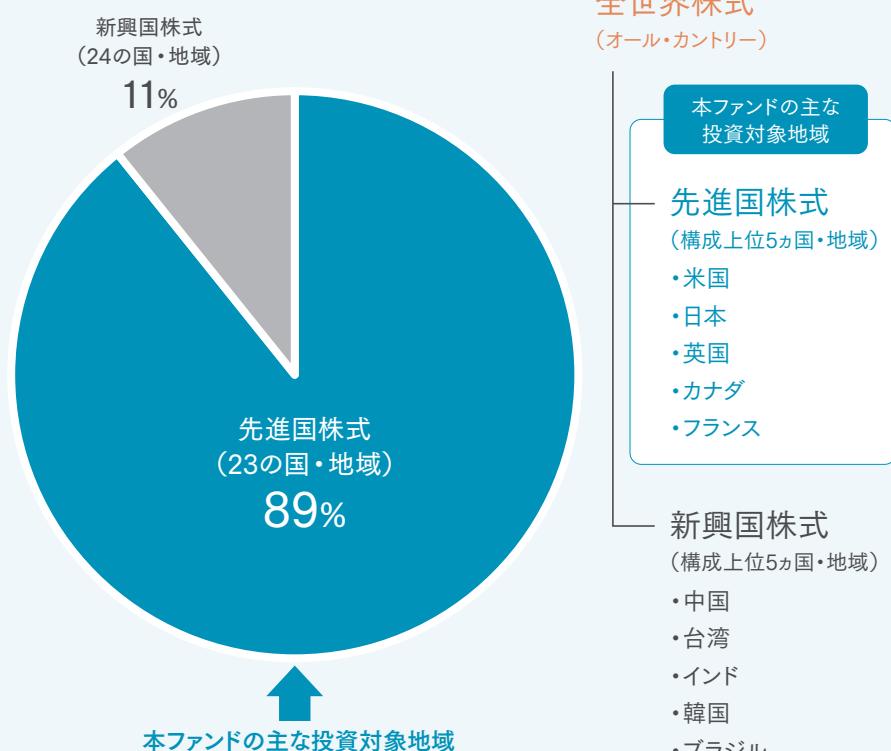
本ファンドは日本を含む先進国の株式を主な投資対象とします。

詳細は8ページの「計量モデルにおけるビッグデータやAI(人工知能)の活用について」もあわせてご覧ください。過去のデータは将来の動向を示唆あるいは保証するものではありません。

先進国株式への分散投資

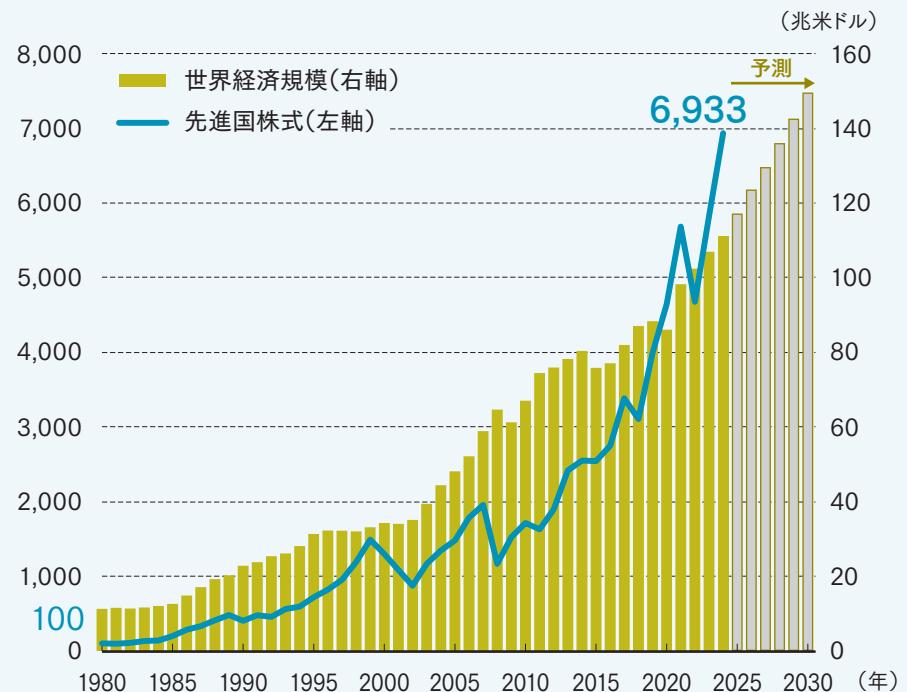
- 本ファンドは、全世界株式市場の時価総額の約9割を占める先進国の株式を主な投資対象とし、分散投資を行います。
- 先進国株式市場は、これまで一時的な調整局面はあったものの、長期的に見ると世界経済の成長に伴い上昇を遂げてきました。

全世界株式市場の時価総額構成比率



時点:2025年9月末、出所:MSCI、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント
MSCIオール・カントリー・ワールド指数の構成銘柄について、MSCIワールド指数の構成国・地域の企業の時価総額を「先進国株式」、MSCIエマージング・マーケット指数の構成国・地域の企業の時価総額を「新興国株式」に分類し構成比率を調べたもの。本ファンドの投資対象以外の国も含まれておりますのでご留意ください。

世界経済の規模と先進国株式の長期推移



期間:世界経済規模 1980年～2030年(2025年以降は2025年10月時点の予測値)、
先進国株式 1980年末～2024年末

出所:IMF(国際通貨基金)World Economic Outlook, October 2025、MSCI、ブルームバーグ

世界経済規模:名目GDP 先進国株式:MSCIワールド指数(税引前配当込み/米ドル・ベース)

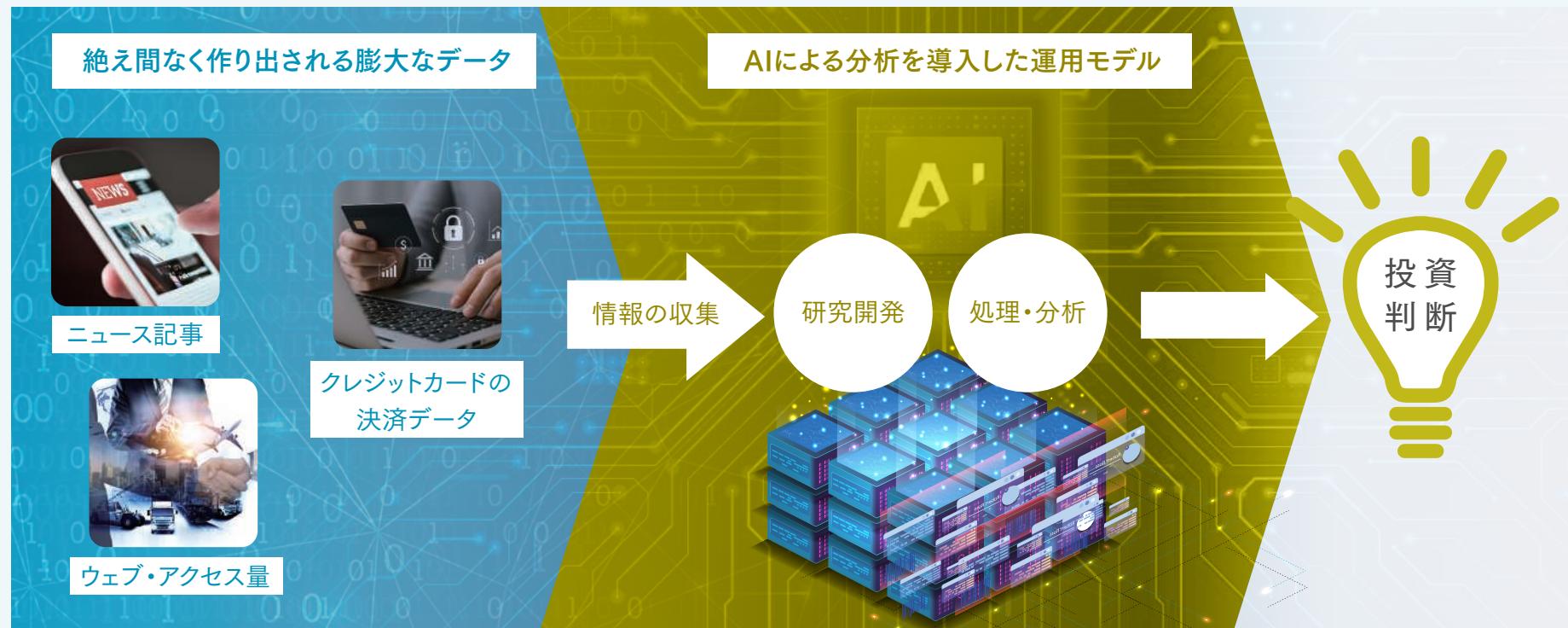
先進国株式は1980年末を100として指数化

上記は過去のデータおよび一時点における予測値であり、将来の動向を示唆あるいは保証するものではありません。経済、市場等に関する予測は本資料作成時点のものであり、情報提供を目的とするものです。上記の「世界経済」には、新興国など本ファンドの投資対象以外の国も含まれておりますのでご留意ください。

ビッグデータ/AIを活用した投資戦略

- 現在生成されるビッグデータは、従来の数値データにとどまらず、文章や画像といった多様なデータが主流となりつつあり、その量も飛躍的に増加しています。
- ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントでは長年にわたり、投資判断に役立つデータのリサーチや、データ分析における評価手法の開発を行い、独自の運用モデルを高度化させてきました。本ファンドでは、ビッグデータやAIといった先進技術を活用し、投資判断を行います。

本ファンドの投資戦略



詳細は、9ページの「運用プロセス」をご覧ください。上記のデータ例は、あくまで一例に過ぎません。写真やイラストはイメージとして掲載するものです。

※ 8ページの「計量モデルにおけるビッグデータやAI(人工知能)の活用について」もあわせてご覧ください。

本ファンドの活用データ

- 財務諸表などの伝統的なデータに加え、ニュース記事やウェブ・アクセス量などの新しい切り口の非伝統的なデータも活用します。

一般的な株式分析でも使われる
伝統的なデータ

- 売上高成長率
- 利益率
- PER(株価収益率)
- PBR(株価純資産倍率)

⋮



新しい切り口の
非伝統的なデータ

- ニュース記事
- クレジットカードの決済データ
- ウェブ・アクセス量
- 自社の従業員の評価
- 機関投資家等の売買動向

⋮



上記のデータ例は、あくまで一例に過ぎません。上記は例示をもって理解を深めていただくことを目的としたものです。写真やイラストはイメージとして掲載するものです。

非伝統的なデータの分析例



例1

ニュース記事

メディアに登場する企業関連ニュース

- メディアに登場する企業関連ニュースは、個別銘柄への市場心理の変化を刻々と反映
- ニュースでの取り上げ方を分析することで、個別銘柄への市場心理を測定



例2

ウェブ・アクセス量

企業ウェブサイトへのページ閲覧数

- 小売業などの一般消費者向けに事業を営む企業では、企業ウェブサイトへのページ閲覧数が増加すると、販売増加に伴い収益性が向上する傾向*
- 企業ウェブサイトへのアクセス動向を分析することで、収益性のトレンドを予測



例3

企業同士のつながり

取引先関係・サプライチェーンでの企業同士の関係性

- ある企業の株価が動くと、その会社と関係の深い別の企業の株価にも影響が出ることがある
- 取引先やサプライヤーなど、企業同士のつながりを分析することで、ある企業の株価の動きから、関連する別の企業の株価を予測

*すべての一般消費者向けにビジネスを営む企業にあてはまるものではありません。

上記のデータ例は、あくまで一例に過ぎません。上記は例示をもって理解を深めていただくことを目的としたものです。上記のような運用が実現できることを保証するものではありません。写真やイラストはイメージとして掲載するものです。

運用チームのご紹介

本ファンドの運用チームのご紹介

- 本ファンドの実質的な運用は、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントの計量投資戦略グループが担当
- 同グループは1989年、米国株式で計量株式戦略を開始
- 2008年以降、ビッグデータ/AIを活用した評価基準を運用モデルに導入開始
- システム・エンジニアと数理分析担当者が運用を支援しており、豊富なコンピューティング資源を活用できる最先端の技術環境のもとで活動を行う



IT

多数のシステム・エンジニアと
数理分析担当者が運用を支援



資産運用や
ファイナンスの分析力

1989年以降活動を続ける計量
投資戦略グループが運用を担当

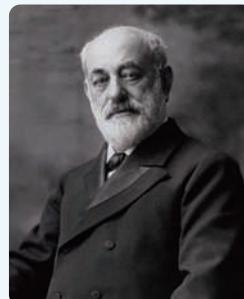


2つの分野の能力を兼ね備えた
ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

※8ページの「計量モデルにおけるビッグデータやAI(人工知能)の活用について」もあわせてご覧ください。

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントのご紹介

- 1988年の設立以来、世界有数の資産運用会社として、世界の機関投資家、ファイナンシャル・アドバイザー、個人投資家等に投資および助言サービスを提供
- 150年超の歴史を有するゴールドマン・サックス・グループのノウハウと世界を結ぶグローバル・ネットワークを活用し、お客様のニーズに対応したサービスを提供
- 世界約30カ国に拠点を配し、契約資産残高は約442兆円*



グループ創業者
マーカス・ゴールドマン

ゴールドマン・
サックス・アセット・
マネジメントの
契約資産残高は
約442兆円

**Goldman
Sachs**
Asset
Management

* 時点:2025年6月末、1米ドル=144.445円で円換算
出所:ゴールドマン・サックス、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

ファンドの特色

POINT
01

日本を含む先進国の株式を主な投資対象とし、
信託財産の長期的な成長をめざして運用を行います。

POINT
02

ビッグデータやAI(人工知能)を活用したゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント独自開発の計量モデルを用い、多様な銘柄評価基準に基づいて幅広い銘柄に分散投資します。

POINT
03

為替ヘッジありのAコース、為替ヘッジなしのBコースの選択が可能です。

■本ファンドは、一般的にビッグデータ分析の対象となる企業開示情報や企業ニュースなどが豊富にあり、またそのクオリティの高い先進国企業を投資対象とします。

※運用においてビッグデータやAIなどを利用しますが、ビッグデータやAIなどのテクノロジー関連企業に特化して投資するものではありませんのでご留意ください。

※Aコースは、MSCIワールド・インデックス（円ヘッジ・ベース）、Bコースは、MSCIワールド・インデックス（円ベース）を運用上の参考指標とします。

※為替ヘッジにはヘッジ・コストがかかります。Aコースは、原則として、実質的な外貨建資産について対円で為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図りますが、委託会社の裁量により実質外貨建資産のすべてに対してヘッジが行われるとは限りません。また、純資産総額によっては一部の実質外貨建資産について為替ヘッジを行わず、為替ヘッジを行わない比率は純資産総額の減少に応じて大きくなります。Aコースへの投資であっても為替変動リスクが伴いますのでご留意ください。

Bコースは、原則として対円での為替ヘッジを行いません。

※本ファンドは、ファンド・オブ・ファンズ方式で運用を行います（ファンド・オブ・ファンズ方式については、後記「ファンドの仕組み」をご覧ください）。本ファンドの主要投資対象は、ルクセンブルク籍外国投資証券(米ドル建て)「ゴールドマン・サックス・ファンズS.I.C.A.V.-ゴールドマン・サックス・グローバルCOREエクイティ・ポートフォリオ」です。

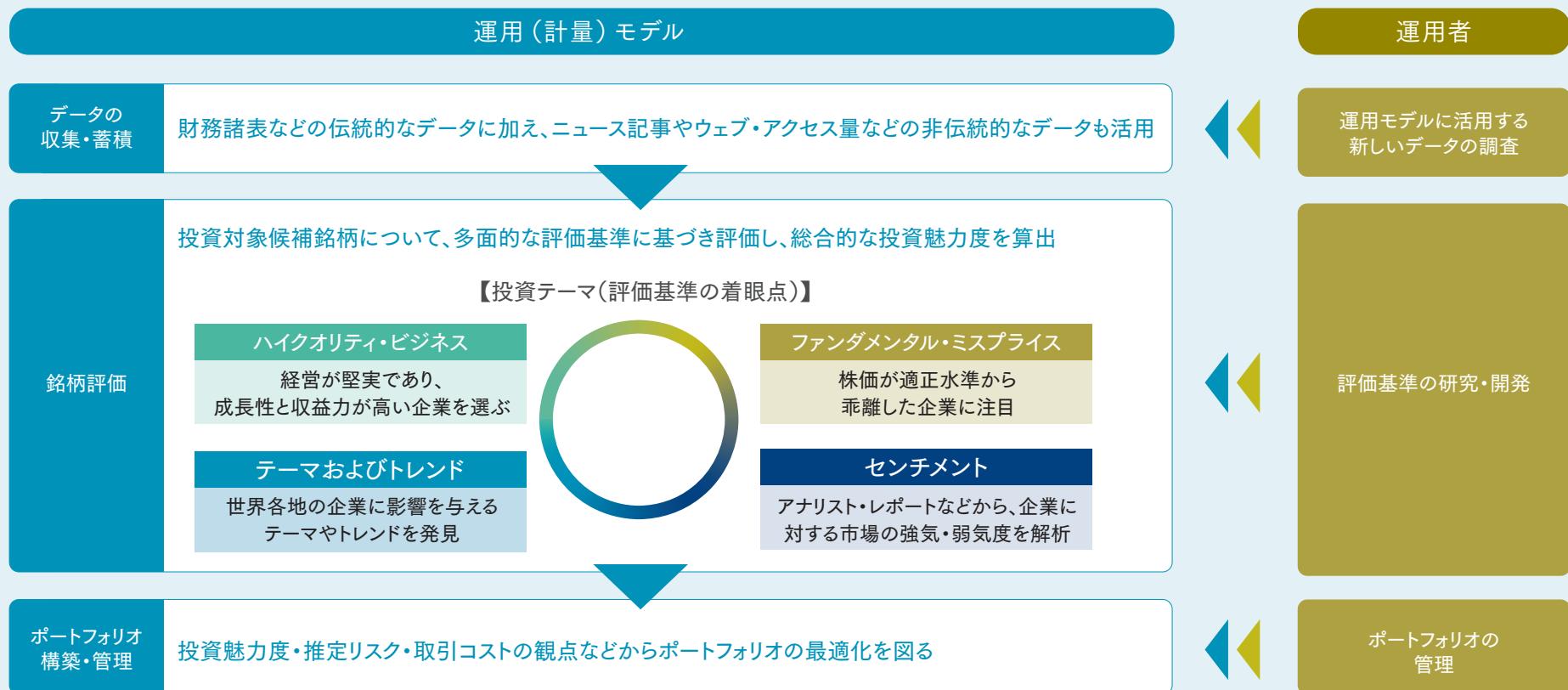
※市況動向や資金動向その他の要因等によっては、運用方針に従った運用ができない場合があります。

■計量モデルにおけるビッグデータやAI(人工知能)の活用について

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントの計量モデルでは、投資対象銘柄について、数多くの多面的な評価基準に基づいて評価し、組入銘柄を決定しています。これらの評価基準の開発において、財務諸表などの伝統的なデータに加え、ニュース記事やウェブ・アクセス量などの非伝統的なデータも活用されます。ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントではこれらのデータ(ビッグデータを含みます。)の活用を競争力の源泉とみなしており、近年その利用割合を増やしているだけでなく、そのデータの種類や利用方法も進化しています。機械学習に代表されるAI技術は、一部の評価基準においてデータ分析プロセスで活用され、特にアナリスト・レポートやニュース記事等のテキストデータを読み込む評価基準において活用されます。最終的な評価基準の選定および組入銘柄の決定は、計量投資戦略グループのシニア・ポートフォリオ・マネジャーが監督しています。

運用プロセス

- 投資対象銘柄については、投資テーマを通じた数多くの多面的な評価基準に基づいて評価を行い、組入銘柄を決定します。
- これらの評価基準の開発において、財務諸表などの伝統的なデータに加え、ニュース記事やウェブ・アクセス量などの非伝統的データも活用されます。
- 最終的な評価基準の選定および組入銘柄の決定は、計量投資戦略グループのシニア・ポートフォリオ・マネジャーが監督しています。



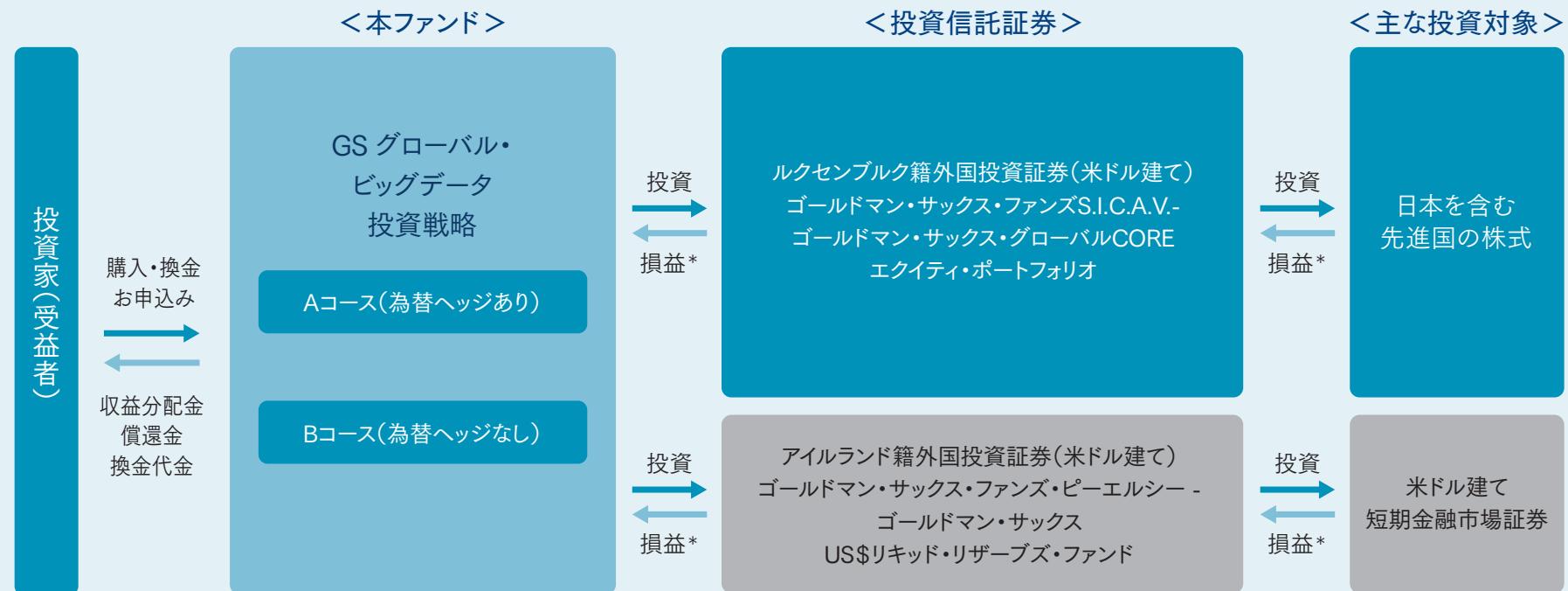
*ポートフォリオ構築の際には、銘柄評価に加え、定量評価に基づく国別配分も行います。

上記は本ファンドの主要投資対象である外国投資証券の投資プロセスを説明した概念図です。実際の評価の割合等とは異なることがあります。上記は現行モデルに基づくものであり、運用モデルの改良・更新は継続的に行われております。上記が、その目的を達成できる保証はありません。投資プロセスは変更される場合があります。

*8ページの「計量モデルにおけるビッグデータやAI(人工知能)の活用について」もあわせてご覧ください。

ファンドの仕組み

- 本ファンドは、ファンド・オブ・ファンズ方式で運用を行います。運用にあたってはゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントが運用する投資信託証券のうち、本ファンドの運用戦略を行うために必要と認められる下記の投資信託証券を主要投資対象とします。



*損益はすべて投資家である受益者に帰属します。
※上記の投資信託証券(以下、「組入れ投資信託証券」ということがあります。)への投資比率は、資金動向および投資対象となる各投資信託証券の収益性等を勘案して決定するものとします。原則としてルクセンブルク籍外国投資証券(米ドル建て)「ゴールドマン・サックス・ファンズS.I.C.A.V.-ゴールドマン・サックス・グローバルCOREエクイティ・ポートフォリオ」の組入比率を高位に保つものの、各投資信託証券の投資比率には制限を設けません。

※投資対象となる投資信託証券は見直されることがあります。この際、上記の投資信託証券が除外されたり、新たな投資信託証券が追加される場合もあります。

※収益分配金に関する留意点

分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。

計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行った場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。また、投資家のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部戻しに相当する場合があります。

本ファンドの運用実績

設定日 2017年2月24日 (2コース共通)

純資産総額 1,600億円 (2コース合計)

■Aコース(為替ヘッジあり)の基準価額の推移



■Aコース(為替ヘッジあり)の期間別騰落率

騰落率	
過去1年	+13%
過去3年	+60%
過去5年	+63%
設定来 (2017年2月24日～)	+99%

■Bコース(為替ヘッジなし)の基準価額の推移



■Bコース(為替ヘッジなし)の期間別騰落率

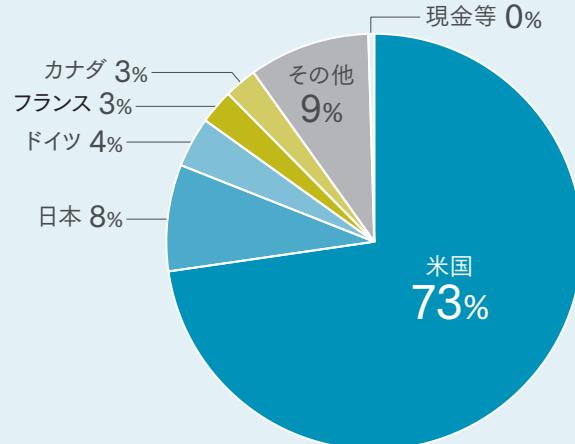
騰落率	
過去1年	+22%
過去3年	+91%
過去5年	+156%
設定来 (2017年2月24日～)	+211%

グラフ期間:2017年2月24日(設定日)～2025年9月30日 純資産総額、期間別騰落率は時点:2025年9月末、出所:ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント 両コースともに、上記期間において分配実績はありません。

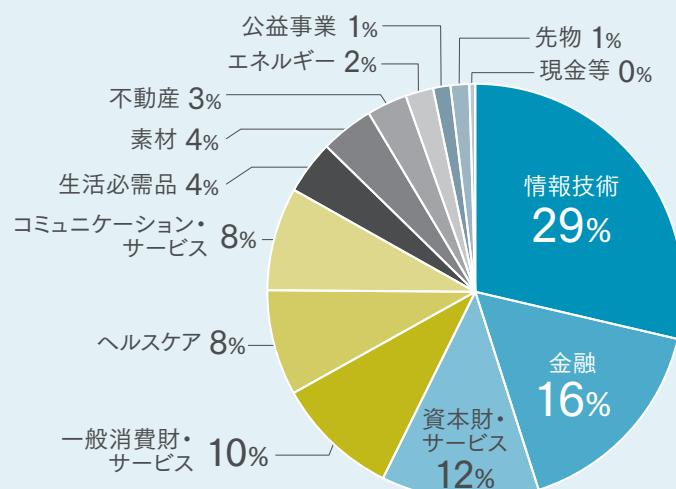
過去の運用実績は将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

投資対象ファンドのポートフォリオ概要

■国別比率(上位5ヵ国を表示)



■セクター別比率



■組入上位銘柄(組入銘柄数:278銘柄)

銘柄名	国	業種(セクター)	比率
1 エヌビディア	米国	情報技術	6%
2 マイクロソフト	米国	情報技術	6%
3 アップル	米国	情報技術	4%
4 ブロードコム	米国	情報技術	3%
5 アマゾン・ドット・コム	米国	一般消費財・サービス	2%
6 アルファベット クラスC	米国	コミュニケーション・サービス	2%
7 ピザ	米国	金融	2%
8 ネットフリックス	米国	コミュニケーション・サービス	2%
9 テスラ	米国	一般消費財・サービス	1%
10 アルファベット クラスA	米国	コミュニケーション・サービス	1%

時点:2025年9月末、出所:ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

投資対象ファンド「ゴールドマン・サックス・ファンズS.I.C.A.V.-ゴールドマン・サックス・グローバルCORE エクイティ・ポートフォリオ」のデータであり、比率は対純資産総額比です。セクター分類はGlobal Industry Classification Standard(GICS®)(世界産業分類基準)の分類を使用しています。上記は基準日時点におけるデータであり、将来の成果を保証するものではなく、市場動向等により変動します。また、ポートフォリオの内容は市場の動向等を勘案して隨時変更されます。例示された個別証券は、必ずしも現在あるいは将来の保有銘柄であるとは限らず、また当該投資戦略に関する投資判断を代表するものではありません。比率は四捨五入しているため、合計値が100%にならない場合があります。

(ご参考)本ファンドでの積み立て投資

積み立て投資にあたっては、長期での投資が可能な余裕資金の範囲で行うことが肝要です。一般的に、投資を行う場合には、一つの資産や資産クラスに集中するのではなく、分散を行うことが望ましいとされていることにもご留意ください。投資額は、ご投資家の資産状況により異なります。各投資家ご自身でご判断ください。

●左図は2017年2月末から、Bコース(為替ヘッジなし)に毎月3万円ずつ積み立てた場合のシミュレーションです。

●右図は、Bコース(為替ヘッジなし)への期間別・金額別の積み立て投資シミュレーションです。

■設定月末来積み立て投資シミュレーション



■期間別・金額別積み立て投資シミュレーション

下図の青字は、積み立て投資を行った際の2025年9月末における時価評価額を、
(黒字)は投資額(累計)を示します。

毎月の投資額	3年 (2022年9月末～)	5年 (2020年9月末～)
1万円	50万円 (36万円)	99万円 (60万円)
3万円	151万円 (108万円)	297万円 (180万円)
5万円	252万円 (180万円)	495万円 (300万円)
10万円	504万円 (360万円)	990万円 (600万円)

左図期間：2017年2月末(設定月末)～2025年9月末、右図時点：2025年9月末、出所：ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント
Bコース(為替ヘッジなし)の基準価額(信託報酬控除後)を使用しています。上記は、積み立て投資について理解を深めていただく目的で作成したものであり、当初一括投資との有利不利を比較する目的ではありません。過去3年、5年、設定月末の投資期間を例示していますが、投資期間を変更して試算した場合は結果が異なります。また、投資方法にかかわらず、基準価額が平均購入価額を下回った場合には損失を被ります。シミュレーションによるパフォーマンスは、実際の取引に基づくものではなく、各投資家の実際の投資において上記シミュレーションと同様の結果が得られるとは限りません。過去の運用実績は将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

投資リスク

基準価額の変動要因

投資信託は預貯金と異なります。本ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額が変動します。また、為替の変動により損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆さまの投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。信託財産に生じた損益はすべてご投資家の皆さんに帰属します。

主な変動要因

株式投資リスク(価格変動リスク・信用リスク)

本ファンドは、日本を含む先進国の株式を主要な投資対象としますので、本ファンドへの投資には、株式投資にかかる価格変動等のさまざまなリスクが伴うことになります。本ファンドの基準価額は、株式等の組入有価証券の値動きにより大きく変動することがあり、元金が保証されているものではありません。特に世界の株式市場の下落局面では本ファンドの基準価額は大きく下落する可能性が高いと考えられます。一般に、株価は、個々の企業の活動や一般的な市場・経済の状況に応じて変動します。したがって、本ファンドに組入れられる株式の価格は短期的または長期的に下落していく可能性があります。現時点において価格が上昇傾向であっても、その傾向が今後も継続する保証はありません。また、発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなることもあります。

株式の流動性リスク

本ファンドの投資対象には、流動性の低い株式も含まれています。このような株式への投資は、ボラティリティ(価格変動率)が比較的高く、また流動性の高い株式に比べ、市況によっては大幅な安値での売却を余儀なくされる可能性があることから、大きなリスクを伴います。

為替変動リスク

本ファンドは、日本を含む先進国の株式を投資対象とする外貨建ての投資信託証券を主要な投資対象としますので、本ファンドへの投資には為替変動リスクが伴います。とりわけ、対円で為替ヘッジを行わないBコースでは為替変動の影響を直接的に受け、円高局面ではその資産価値を大きく減少させる可能性があります。Aコースは、対円で為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図りますが、為替ヘッジを行うにあたりヘッジ・コストがかかります(ヘッジ・コストは、為替ヘッジを行う通貨の金利と円の金利の差が目安となり、円の金利の方が低い場合、この金利差分収益が低下します。)。為替ヘッジは実質的な外貨建資産に対して行われますが、委託会社の裁量により実質外貨建資産のすべてに対してヘッジを行うとは限りません。また、Aコースの純資産総額によっては一部の実質外貨建資産について為替ヘッジを行わず、為替ヘッジを行わない比率は純資産総額の減少に応じて大きくなります。そのため、Aコースへの投資であっても為替変動リスクが伴います。

留意点

計量運用に関する留意点

本ファンドでは、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントの計量モデル群を用いた複数の戦略が実行されます。ビッグデータやAIの利用を含む計量モデルに従う運用がその目的を達成できる保証はなく、ボトムアップ手法によるアクティブ運用やパッシブ運用など他の運用手法に対して優位性を保証するものではありません。なお、計量モデルにはビッグデータやAI以外の定量要素も利用されます。計量モデルの改良・更新は継続的に行われており、ビッグデータやAIの利用方法については将来変更されることがあります。計量モデルは仮説に基づき構成されたものであり、モデルにより選択された銘柄や市場動向は必ずしもこの仮説が想定する動きを示さない場合があります。また、ある時点でモデルが有効であったとしても、市場環境の変化等により、その有効性が持続しない可能性もあります。このような場合には、本ファンドの基準価額に影響を及ぼし、本ファンドのパフォーマンスが参考指標を下回ったり、投資元金が割り込む可能性があります。

MSCIおよびMSCIの情報の編集、計算、および作成に関与するその他すべての者(以下総称して「MSCI当事者」といいます)は、MSCIの情報について一切の保証(独創性、正確性、完全性、商品性および特定目的への適合性を含みますが、これらに限定されません)を明示的に排除します。MSCI、その関連会社およびMSCI当事者は、いかなる場合においても、直接損害、間接損害、特別損害、付随的損害、懲罰損害、派生的損害(逸失利益を含みます)およびその他一切の損害についても責任を負いません。MSCIの書面による明示的な同意がない限り、MSCIの情報を配布または流布してはならないものとします。

お申込みメモ

くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。お申込みの詳細については、販売会社にお問い合わせください。

お申込みメモ

購入単位	販売会社によって異なります。
購入価額	購入申込日の翌営業日の基準価額
購入代金	販売会社が指定する日までにお支払いください。
換金価額	換金申込日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として換金申込日から起算して6営業日目から、お申込みの販売会社を通じてお支払いいたします。
購入・換金申込不可日	英國証券取引所、ニューヨーク証券取引所もしくはルクセンブルク証券取引所の休業日またはロンドン、ニューヨークもしくはルクセンブルクの銀行の休業日および12月24日（以下「ファンド休業日」といいます。）
申込締切時間	「ファンド休業日」を除く毎営業日の原則として午後3時30分までに販売会社所定の手続きが完了したものを当日の申込受付分とします。 ※販売会社によっては対応が異なる場合がありますので、くわしくは販売会社にご確認ください。
信託期間	原則として無期限（設定日：2017年2月24日）
線上償還	各ファンドについて純資産額が30億円を下回ることとなった場合等には線上償還となる場合があります。また、主要投資対象とする投資信託証券が存続しないこととなる場合には、信託を終了します。
決算日	毎年3月10日（ただし、休業日の場合は翌営業日）
収益分配	毎年の決算時に原則として収益の分配を行います。販売会社によっては、分配金の再投資が可能です。 ※運用状況によっては、分配金の金額が変わること、あるいは分配金が支払われない場合があります。
信託金の限度額	各ファンドについて1兆円を上限とします。
スイッチング	スイッチング（乗換え）については、販売会社にお問い合わせください。 ※スイッチングの際には換金（解約）されるファンドに対して換金にかかる税金が課されることにつきご留意ください。
課税関係（個人の場合）	課税上は株式投資信託として取扱われます。 本ファンドは、少額投資非課税制度（NISA）の「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の適用対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。 配当控除の適用はありません。 原則、分配時の普通分配金ならびに換金（解約）時および償還時の差益（譲渡益）が課税の対象となります。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時	購入時手数料	購入申込日の翌営業日の基準価額に、3.3%（税抜3%）を上限として販売会社が定める率を乗じて得た額とします。
換金時	信託財産留保額	なし

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

毎日	運用管理費用（信託報酬）	純資産総額に対して年率1.3475%（税抜1.225%） ※運用管理費用は日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支払われます。
	信託事務の諸費用	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、印刷費用など信託事務の諸費用が信託財産の純資産総額の年率0.1%相当額を上限として定率で日々計上され、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支払われるほか、組入れ投資信託証券の信託事務の諸費用が各投資信託証券より支払われます。
随時	その他の費用・手数料	有価証券売買時の売買委託手数料や資産を外国で保管する場合の費用等 上記その他の費用・手数料（組入れ投資信託証券において発生したものを含みます。）はファンドより実費として間接的にご負担いただきますが、運用状況等により変動するものであり、事前に料率・上限額等を表示することができません。

※上記の手数料等の合計額については、ご投資家の皆さまがファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

委託会社その他関係法人の概要について

- 委託会社：ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社（信託財産の運用の指図等を行います）
- 受託会社：みずほ信託銀行株式会社（信託財産の保管・管理等を行います）
- 販売会社（本ファンドの販売業務等を行います）

販売会社については、下記の照会先までお問い合わせください。

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社

電話：03-4587-6000（受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで）

ホームページ・アドレス：www.gsam.co.jp